

「教員任用履歴書」記入要領（【記入例】参照）

早稲田大学 教務部教務課

「教員任用履歴書」はそのまま印刷して会議の資料として使用しますので、丁寧に扱うとともに、P C等で入力の上プリントアウトするか楷書で鮮明に（黒インクで）ご記入ください。履歴は学歴、職歴の開始と終了を漏れなく記載してください。「研究業績」用紙は罫線入りの様式と罫線なしの様式がありますが、どちらかの様式でご提出ください。なお、P C用の様式をご希望の場合はメールにてご送付いたしますので、箇所担当者へお申し出ください。

「教員任用履歴書」は、以下の要領にてご記入ください。

（１）年号の表記

年号はすべて西暦で表示願います。

（２）「氏名」欄

①印鑑を押印願います。

②外国人の方の場合の表記方法

1) 「氏名」欄は、母国語または英語で姓名を記入し、「フリガナ」欄はカタカナでご記入ください。

2) 氏名は姓名の順に、次のように表記してください。

『ファミリーネーム [,] ファーストネーム ミドルネーム [.] 』

省略は、ピリオド [.] を使用します。

(例) 『ジョン F. ケネディ』は『ケネディ, ジョン F. 』

3) 印鑑をお持ちでない場合は、必ず自筆サインをしてください。

③通称名を使用する場合は、『通称名（本名）』で表記してください。

（３）写真貼付

新規嘱任予定の専任教員、専任扱いの客員教員、助教、助手、客員研究助手の方は、写真の貼付をお願いいたします。それ以外の方につきましては必要ありません。

（４）国籍欄

国籍(国名)をご記入ください。

（５）「学歴」欄

①高等学校の学歴は、最終学歴が大学卒業以上の場合は省略いただいて結構です。

②入学、卒業・修了等の年月日を正確にご記入ください。

早稲田大学の場合、入学は４月１日付で、卒業・修了は、両高等学院が３月３１日付、学部は１９５３年より３月１５日付（１９６９年は、一・二文、教育、理工、社学は２５日付）、大学院修士課程は１９６０年より３月１５日付となっています。

また、学部においては9月15日付の9月卒業、大学院修士課程においては9月15日付の9月修了（1984年以前は10月修了）があります。不明な点がありましたら、該当する学部・大学院の事務所にお尋ねください。

③学科、専攻、専修名は、正確にご記入ください。

④大学院の修士課程・前期課程および博士課程・後期課程の記入欄は、学部までとは別に所定の欄を設けてありますので、ご注意ください。

なお、早稲田大学大学院では、次のように課程の名称が変遷していますので、下記により該当の課程の名称を○で囲んでください。在学中に名称が変わった場合には、修了・退学の時点の名称になります。

早稲田大学大学院課程名称の変遷

戦後の新制度 ～ 1976年3月	修士課程と博士課程
1976年4月 ～ 1985年3月	博士前期課程と博士後期課程
1985年4月 ～ 現在	修士課程と博士後期課程

また、博士課程・博士後期課程で、年度途中で退学届を提出した場合を除き、学位を取得せずに大学を退学した場合は、一般的には3月31日付退学となります。

⑤博士学位名は、受領が1991年6月までが『○○博士』、それ以降は『博士（○○）』となります。

（6）「職歴」欄

①他の大学や学校で講師をされている場合は、専任・非常勤の区別を明確にご記入ください。企業・研究所等に勤務されている場合は、その役職名・肩書等を明記願います。

②他の大学・学校・企業等をすでに退職されている場合は、その退職年月日を明記願います。

③現職の欄には、複数の大学や学校、研究所等に勤務されている場合は、代表的な現職をご記入ください。

④助手の方の学外兼職は原則として禁止されていますが、助手退任後に他大学の教員になるためには、前もって非常勤講師に就任している方が採用されやすいという実情を考慮して、次のような申し合わせに基づいて兼職を認めています。

1) 職務の内容が本大学助手としての本務に支障をきたさず、かつ、社会的にみて大学の品位をおとしめるものでないこと。

2) 本務と特別の利害関係発生の恐れがないこと。

3) 授業担任時間が週4時間以内であること。

4) 学術院教授会、研究所もしくはセンターの管理委員会、演劇博物館または博物館協議委員会が適当であると認めたものであること。

従って、助手の新規嘱任に際してすでに他大学等の非常勤講師に就任している場合、職歴欄には、その職名を記入し、助手就任前に退職する場合には退職予定年月日を明記、助手就任後も引き続き就任する場合には週当たりの授業担任時間を明記し、助手就任時または就任後速やか

に学術院教授会等の承認を受けてください。詳しくは、当該事務所にご相談ください。

(例) ○○大学非常勤講師(2006. 3. 31退職予定)

○○大学非常勤講師 (週 2 時間担当)

(7) 「専攻分野」欄

自己の研究分野を別紙一覧より選んでご記入ください。

(8) 「研究分野」欄

詳細にご記入ください。

(9) 「研究業績」欄

①原則として、研究業績用紙 2 枚程度に収まる範囲内で、主要な著書・論文等をご記入ください。

②研究業績は、修士論文・博士論文・著書・論文・翻訳・学会発表・文部科学省科学研究費補助金採択課題・公的資金による研究課題等に分類したうえ、この順にそれぞれをまとめ、発行・発表年月の古い順にご記入ください。

各々の業績の書き方でご留意いただきたい点は、次のとおりです。

著 書：共著の場合は（共著）と明記していただき、題名のほかに執筆担当部分のタイトル名と担当頁を何頁～何頁までとご記入ください。

論 文：共著の場合は（共著）と明記していただき、執筆担当部分がある場合には何頁～何頁までとご記入ください。また、嘱任予定箇所から依頼があった場合には、第一著者名をご記入ください。

学会発表：「発行又は発表箇所」欄には、発表された学会名等をご記入ください。

文部省科学研究費補助金採択課題：研究代表者として採択されたことがあれば、その種類、題目、金額等をご記入ください。

公的資金による研究課題：科研費以外の経済通産省、日本学術振興会などの公的資金による研究を代表者として実施したことがあれば、その種類、題目、金額等をご記入ください。

詳しくは、「教員任用履歴書」記入例をご参照ください。

③『昇任』の場合、専任講師から准教授に昇任される場合は、専任講師から准教授に昇任されるまでの間の研究業績のみをご記入ください。准教授が教授に昇任される場合も同じ要領です。

(10) その他の必要書類

①新規嘱任予定の専任教員および助手の方は、次の書類をご提出ください。

1) 住民票記載事項証明書（本学所定様式使用）

2) 他大学で博士学位を取得している方は、学位取得証明書か博士学位記の写し

②外国人の方は、専任・非常勤に関わらず、外国人登録証の写し（在留資格・在留期間が分かるように）をご提出ください。これは税金処理の関係上必要なものです。

※在学中の方を採用する場合は、ビザの切替にご注意ください。

- ③高等学院および本庄高等学院に新規嘱任予定の教諭、非常勤講師の方は、教員免許状の写しをご提出ください。

(11) 健康診断

- ①新規嘱任することが箇所決定した専任教員、客員教員（専任扱い）、助教、助手の方には、労働安全衛生規則に基づき早稲田大学総合健康教育センターにおいて雇入時健康診断を行います。
- ②受診のご案内は、嘱任が箇所決定した時点で、箇所担当者から『「雇入時健康診断」実施要領』が送付されますので、ご確認の上、受診してください。
- ③遠隔地に居住するなどにより所定期間内に雇入時健康診断の受診が困難な場合は、早稲田大学総合健康教育センター（TEL03-3202-0580）へご相談ください。
- ④嘱任期間が短期（6ヶ月以内）の方は、受診結果が出た頃には退職しているという例もあります。このような場合は、3ヶ月以内に作成した健康診断書を嘱任時に提出していただき、雇入時健康診断の代用とすることができます。
- ⑤健康診断の結果は本人と嘱任箇所に通知します。

(11) 新規嘱任時に必要な書類等一覧

必要書類等 資格	教員任用 履歴書	住民票記載 事項証明書	外国人登録 証の写し	博士学位 記の写し	教免の 写し	雇入時 健診
専任教員・助教・助手	○	○	☆	△	*	○
客員教授（専任扱い） 客員准教授（ 〃 ） 客員講師（ 〃 ） 客員講師（インストラクター） 客員研究助手	○		☆	△		○
客員教授（非常勤扱い） 客員准教授（ 〃 ） 客員講師（ 〃 ） 非常勤講師	○ 写真不要		☆		*	

〔表の注釈〕

専任教員 …教授、特任教授、准教授、専任講師、教諭

非常勤講師…芸術学校の専任教員および学院・本庄の教諭を学部の非常勤講師として新規嘱任する場合も含む。

☆は、外国人の場合（関係省庁へ届出が必要なため、必ず提出してください）

△は、本大学以外で博士学位を取得した場合

*は、両学院の教諭・非常勤講師に限り、教員免許状の写しが必要

以 上

早稲田大学教員任用履歴書

No. 1

※年号はすべて西暦でご記入ください

(2 0 0 6 年 1 0 月 1 日現在)

フリガナ	ワセダ	タロウ	性別	外国人教員の 翻訳者署名
英字氏名	WASEDA	Tarou	男	
氏名	姓 早稲田	名 太郎	女	
生年月日	1963年9月21日42歳	国籍	日本	TEL
現住所	フリガナ シンジュクニシセダ 〒169-0051 新宿区西早稲田1-1-1			03(3203)4141 携帯TEL 090(0123)4567
e-mail	taro@waseda.jp			

写真貼付
4 cm×3 cm

新規嘱任の専任
教員・助手のみ

学 歴 [高等学校入学以降を記入し(入学・編入学)(卒業・修了・退学)等を区分してください]			
年 月 日			入学
年 月 日	高等学校		卒業・修了・退学
1982年 4月 1日	機械工学科		入学・編入学
1986年 3月 15日	早稲田大学	理工学部 専修	卒業・修了・退学
年 月 日			入学・編入学
年 月 日			卒業・修了・退学
年 月 日			入学・編入学
年 月 日			卒業・修了・退学
1986年 4月 1日	修士課程に該当する学歴(新制大学院修士課程・前期課程)		入学・編入学
1988年 3月 15日	早稲田大学大学院理工学研究科	電気工学 専攻	修了・退学
1988年 4月 1日	博士後期課程に該当する学歴(博士課程・後期課程)		入学・編入学
1991年 3月 15日	早稲田大学大学院理工学研究科	電気工学 専攻	修了・退学(満期・中途)・在学中
博 士 学 位	取得学位名(課程・論文) 工 学 博 士	受領大学 早 稲 田 大 学	受領年月日 1991年3月15日

職 歴 [職歴異動の場合は入社・退社、および身分・資格等を記入してください]		
開始(就職)年月日	株式会社製作所 中央研究所研究員	終了(退職)年月日
1991年 4月 1日～		～ 1995年 3月 31日
1993年 4月 1日～	△△△工業大学 工学部 非常勤講師	～ 1996年 3月 31日
1995年 4月 1日～	株式会社製作所 中央研究所主任研究員	～ 1996年 8月 21日
1996年 4月 1日～	○△□大学 理工学部 非常勤講師(現在に至る)	～ 年 月 日
1996年 8月 22日～	株式会社製作所 基礎研究所主任研究員	～ 1997年 3月 31日
1997年 4月 1日～	□□□大学工学部 専任講師	～ 1999年 3月 31日
年 月 日～		～ 年 月 日
年 月 日～		～ 年 月 日
現 職	1999年 4月 1日～ □□□大学工学部 助教授	現在に至る

専攻分野(別紙より選択) 電子・電気材料工学

氏名

No.

教 育 研 究 業 績				
[Ⅰ教育活動(1.教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)2.作成した教科書、教材、参考書3.教育方法・教育実践に関する発表、講演等4.その他教育活動上特記すべき事項)、Ⅱ研究活動(1.著書2.修士論文・博士論文・論文3.学会発表4.文部科学省科研費/公的資金による研究課題(研究代表者)5.その他研究活動上特記すべき事項)、Ⅲ学会等および社会における主な活動、の順に記入してください]				
修士論文・博士論文・著書・論文・学会発表・科研費採択課題等の別	題 名	発行又は 発表年月	発行又は 発表箇所	掲載誌名等
修 士 論 文	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	1988 年 3 月	早稲田大学	
博 士 論 文	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	1993 年 1 月	早稲田大学	
著 書	△△△△△△△△△△△△△△△	1995 年 5 月	○×出版	
	△△△△△△△△△△△△△△△△	1997 年 12 月	○○社	
(共著)	△△△△△△△△△△△△△△△△	2000 年 1 月	○△書店	
	執筆担当部分のタイトル名 P100～P200 担当			
論 文 (共著)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	1994 年 6 月	○○学会	○○○○誌
(共著)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ P25～P30 担当	1996 年 12 月	○○社	○○○○○
(共著)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	1998 年 4 月	○○○○	○○○○○
	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	1998 年 7 月	○○○○	○○○○○
(共著)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	1999 年 10 月	○○○○	○○○○○
(共著)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	2000 年 11 月	○○○○	○○○○○
	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	2002 年 10 月	○○○○	○○○○○
	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	2003 年 9 月	○○○○	○○○○○
学 会 発 表	□□□□□□□□□□□□□□□□	1997 年 10 月	第 9 回電子材料学会	電子材料学会報告 No. 9
	□□□□□□□□□□□□□□□□	1998 年 10 月	第 12 回応物学会	応物学会論文誌 No. 12
	□□□□□□□□□□□□□□□□	2000 年 10 月	第 14 回応物学会	応物学会論文誌 No. 14
	□□□□□□□□□□□□□□□□	2002 年 10 月	Materials Research	
			Society Symposium	
科研費採択課題	基盤研究 B : □□□□□□□□□□□□□□□□	98-2000 年度	□□□大学	500 万円
通産省○○研究	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	00-03 年度	□□□大学	2,000 万円

C u r r i c u l u m V i t a e

S A M P L E

1/2

Family Name: SMITH Given Name(s): JOHN JAMES
Gender: Male Date of Birth: April 2, 1952
Nationality: U. S. A
Home Address: 124 ABC Street
 Fort Collins, Colorado
 37340 U. S. A.
Home Phone: +1-123-4567
Mobile Phone: 090-1234-5678
E-Mail Address: smith@aa.bb.com

Educational Background

Month/Date/Year

(Beginning and completion dates of bachelor's degree)
(Name of university, college or school and department)

9/15/1970—6/15/1974 University of California, College of Arts and Science
 Department of History

(Beginning and completion dates of master's degree)
(Name of university, graduate school, department and
title of thesis)

8/30/1974—6/15/1976 University of Pennsylvania
 Graduate School of Arts and Science
 Department of History
 No thesis

(Beginning and completion dates of doctorate)
(Name of university, graduate school, department and
degree and date awarded, and dissertation title)

8/30/1976—6/15/1980 University of Pennsylvania
 Graduate School of Arts and Science
 Department of History
 Ph.D in American Civilization, 6/15/1980
 Dissertation title: Pioneers and Politics: Statemaking
 in the Far West

Employment Record

Month/Date/Year

9/15/1980—6/15/1982 Lecturer, University of Pennsylvania

9/15/1982—6/30/1985 Assistant Professor, Kansas State University

7/ 1/1985—6/30/1993 Associate Professor, Colorado State University

7/ 1/1993 to present Professor, Colorado State University

Current Employer and Position

Professor, Department of History, Colorado State University

Field of Specialization

American Civilization

Publications:

Presentations:

Other academic and professional activities: